

平成26年9月議会で会派の代表質問

財政基盤の確立と経営改革の推進



代表質問をする竹田ひろし議員

平成26年9月9日開会の第3回北区議会定例会において、自由民主党議員団を代表して要旨次のような質問をおこないました。

竹田 北区は少子高齢化が進行する一方、膨大な行政需要を抱えており、厳しい財政運営が続くと考える。区財政の現状や経営収支比率の高止まりについて、どう認識しているか。また、今後どのような財政運営を心がけるのか。

区長 限られた経営資源を優先的な課題に重点的・効率的に配分するとともに、更なる経営改革に取り組み、歳入と歳出のバランスのとれた健全で安定的な財政運営を目指していく。

竹田 新庁舎の建設用地について、現在の印刷局との交渉状況は。また、ある程度、区の意向に沿った内容での交渉は可能なのか。

区長 国立印刷局王子工場用地の一部取得について、4月に協議を申し入れ、区が策定した新庁舎建設基本構想等を説明し、同工場との共存共栄を基本として理解と協力を求めてきた。

竹田 王子駅周辺のまちづくりグランドデザインの間中まとめについては、6月の建設委員会で報告を受けている。夢のある王子駅周辺のまちづくりのイメージを今後どのように描いていくのか。またスケジュールについては。

区長 引き続き、関係機関との意見交換や地域自治会へのヒアリングを行っており、策定にあたっては、さらに協議を重ね、具体的なイメージを示していく。今後は、検討組織の設置等を検討し、来年度の策定を予定している。

竹田 石神井川の水害対策について、工事のため設置し

ている仮設かさ上げ護岸が撤去されるのではないかと、との心配の声があるが、区への対応は。

また、堀船地区では、防災行政無線による個別サイレン吹鳴試験が行われたが、結果をどう捉え、対策を進めていくか。

区長 仮設かさ上げ護岸は、地域からの要望を受け、石神井川中流域の調節池が整備されるまで残置するよう都に申し入れている。なお、サイレン吹鳴時の基本的な行動について検討を進め、周知・啓発を図る必要があると考える。

竹田 公共施設への貯留槽の設置について、今年度は桐ヶ丘体育館や堀船中学校への、表面もしくは地下貯留槽の設置が予定されているが、進捗状況と今後の計画は。

区長 23年度策定の集中豪雨対策実施計画に基づき、公共施設に雨水の一時貯留整備を進め、28年度までに14カ所を整備する。

竹田 大幅な制度改正を踏まえた、第6期介護保険事業計画の策定にあたってのポイントは。

区長 在宅サービス・施設サービスの方向性の提示や生活支援サービスも含めた新しい総合事業の整備、医療・介護連携・認知症施策の推進等が計画のポイントと考えている。11月の公聴会での意見聴取、12月のパブリックコメントを経て、3月に策定する予定である。

竹田 待機児童解消は重要な課題で、今後も保育所の整備が必要であることは理解しているが、今後はどのような方針で整備を進めるのか。

区長 保育所の整備については、現在策定に取り組んでいる、子ども・子育て支援事業計画に基づき、需要と供給のバランス等、将来の人口動向を見据えながら、必要に応じ、私立認可保育園等の誘致に柔軟に取り組んでいく。

竹田 放課後子どもプランは、今後も計画的な全校実施が望まれるが、余裕スペースが不足している現状の中、どのように進めていくのか。

教育長 校内に余裕教室が少なく、配置換えや転用が難しい学校もあると認識している。今後も学校と協議を重ねて、余裕教室の活用を図るとともに、学校改築やリフレッシュ改修の時期等にも配慮しつつ、全校導入を進めていく。

豊島地区の課題

①文化芸術活動拠点について

文化芸術活動拠点とは、旧豊島北中学校跡地にできる文化芸術活動を行うための音楽スタジオや演劇稽古場やカフェなどのコミュニケーションスペースを備えた施設です。



旧豊島北中学校の改修工事の様子

27年4月の開設を前にして、ニックネームが「ココキタ」に決定しました。なお、今後、このカフェスペースを活用して、会食サービスも開始する予定です。

②学校適正配置計画の一部改訂について

ブロック別適正配置計画では、明桜中学校サブファミリーブロック(王子第一小学校・豊川小学校・柳田小学校・としま若葉小学校)における小学校の数は、3~4校とさ



柳田小学校

れていましたが、児童数が増加に転じており、ブロック内の未就学児の居住状況などを考慮して、小学校数を「3~4」から「4」に変更となりました。